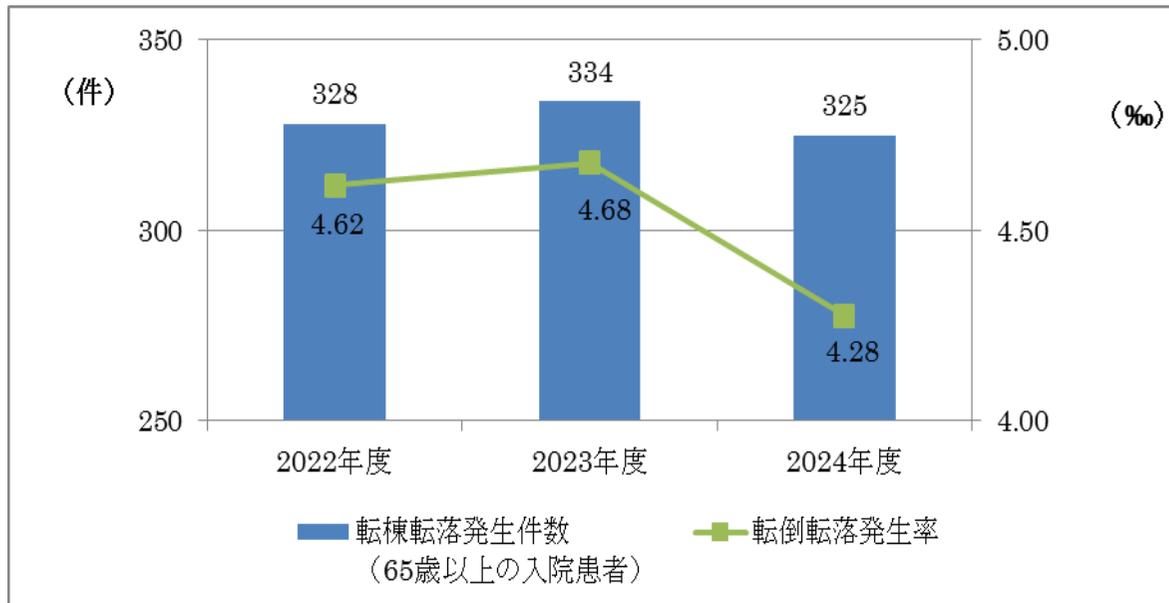


(3-d) 65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率

【65歳以上の入院患者における転倒・転落発生率】

・転倒・転落は骨折などの怪我に結びつく危険性が高く、病状の回復の遅れや日常生活動作に支障が出るなど、患者さんの生活の質に大きく影響を及ぼします。下記は、65歳以上の入院患者さんにおける転倒・転落発生率となっております。



【定義】

医療安全管理室ヘインシデント・アクシデントレポートが提出された

65歳以上の入院中の患者に発生した転倒・転落件数

65歳以上の入院延べ患者数

・グラフの単位 ‰ (パーミル：1000分の1を1とする単位)